京城日報

滿洲國皇帝陛下、御巡狩第二日

單獨接見を賜ふ

小磯總督等、恐懼感激

宮內府發表（五月四日午後四時三十分）皇帝陛下ニハ四日午後一時御泊所ニ於テ在安東日本側有資格者ニ列立接見ヲ賜ヘリ、續イテ小磯朝鮮總督、板垣朝鮮軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官以下御泊所ニ伺候ノ顯官ヲ接見アラセラレ、同一時三十分御泊所御發、同二時十分九連城御着、國分陸軍少將ノ御說明ニテ日露戰役戰蹟ヲ御視察、同三時十分安東造紙株式會社ニ御臨、牟田專務董事御先導ニテ同會社工場ヲ具サニ御視察アラセラレタル後、同三時四十五分御泊所ニ御還幸アラセラレタリ

【安東にて村岡特派員發】安東地方巡狩第二日の四日安東神社に御拜あらせられ、表忠碑、安東省公署、東天閣に御成り遊ばされ午前中の御日程を滯りなく御終了の滿洲國皇帝陛下におかせられては午後一時から御泊所に於いて熙宮內府大臣、吉岡帝室御用掛、吉侍從武官長、金侍衞處長侍立申しあげ在安東日本側有資格者に列立接見を、次いで朝鮮側小磯總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官、山田鐵道局長、丹下警務局長、高橋陸軍少將、新貝司政局長、中井朝鮮憲兵隊司令官、白石平北知事の九名に對しそれぞれ單獨接見あらせられた

接見を賜つた小磯總督以下は先頭のサイドカー警衞先驅車に續いて新義州の宿舍を出發、後藤警備府司令長官、板垣軍司令官、小磯總督と相次いで自動車列にて御泊所に參進、小磯總督は軍裝に旭日大綬章副章、勳一等瑞寶章副章、功二級金鵄勳章、滿洲國勳章龍光大綬を佩用、板垣軍司令官また旭日大綬章副章、勳一等瑞寶章副章、功二級金鵄勳章、滿洲國勳章龍光大綬を佩用、後藤鎭海警備府司令長官は勳一等瑞寶章副章、勳二等旭日重光章、功三級金鵄勳章を佩用、山田鐵道局長以下は禮裝にそれぞれ威儀を正し、謹みて御前に進み、帝顏を拜して御健かなるを喜び恐懼感激して退下したのであつた

かくて皇帝陛下には午後一時卅分熙宮內府大臣以下扈從員を隨へさせられ再び御泊所を御發、小原巡狩主務官の御先導にて安東市北方の九連城に日露役の戰蹟を御訪ね遊ばされた、けふの光榮に感……

しばし御默禱

九連城戰蹟を御視察

【安東にて村岡、金本、井垣特派員發】滿洲國皇帝陛下には御巡狩第二日の四日午後一時御泊所に於て小磯朝鮮總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官以下朝鮮側有資格者に對し單獨接見を賜つた御後、同一時半御泊所御發、御道筋に整然と立ち並び赤誠を捧げる民草の奉迎を受けさせられつゝ安東市より東北に約三里、……

躍進現勢に御滿足

曹安東省長より政務を御聽取

……せられ、牟田專務の御說明を興深く御聽取、大東亞戰下誕生國する產業戰士の上に注がせ給ふ帝德の深さに、一同ただく恐懼感激するのみであつた、かくて陛下には牟田專務以下一同の送迎に御機嫌麗しく同三時卅分御泊所に向はせられた

……御視察の後、畏くも牟田專務に對し『重大時局に鑑紙を以て國に報じた社長以下一同が努力しつゝあるを滿足に思ふ、今後も一層努力するやうに』との有難き御諚を賜ひ、牟田專務は謹みて恐懼感激、今後とも更に一層努力し聖旨に應へ奉らん旨奉答し……

東天閣に御成り

御容麗しく景觀を御展望

……れつゝ午前十一時十分東天閣御着、阿川安東市長の御先導にて御展望所に御歩を進ませられた、鐵江運山の綠も光榮に鮮々え遠く望む運山の翁々は運嶽にまれて暮深く、ゆるやかに蛇行する鴨綠江をはさんで安東、新義州の町並が擴がる情景は、山にかまれ、川に抱かれた勝地の幸をふ一幅の名畫である、御容いと御麗しくこの景觀を御前にされた皇帝陛下には、恭しく進み出でた阿川安東市長から市概況に關する御說明を御熱心に御聽取、雙眼鏡を御手に仔細に御展望遊ばされ、十餘分に亙る御展望を了へさせられ午前十一時廿分御機嫌御麗しく御泊所に向はせられた

露人墓地に侍從武官御差遣

【安東にて井垣特派員發】滿洲國皇帝陛下には四日午後二時十分、日露役の戰蹟九連城に御臨あらせられ黑木大將以下第一軍將兵戰歿者の御模樣を親しく御偲び遊ばされたが、同役における露國軍無名戰士の上に垂れさせ給ふ畏き思召から鎭東山の露人墓地に張侍從武官並に葛臨行官を御差遣あらせられた、畏き御心を啣じた張侍從武官、葛臨行官は午後四時三十分御泊所を出發、途中御列を離れて露人墓地に向ひ、縣公署、協和會、興亞合作社、村公所職員および村民ら多數の出迎への裡に墓地前に到着、敬虔なる拜禮を行つたが帝德の高さに關係者はいたく感激申しあげたのであつた

皇帝陛下・表忠碑に御拜 〔四日安東にて 謹寫・謹電送〕

下は御泊所に參進の小磯總督（右）と板垣軍司令官（新義州外より同盟携帶電送機にて電送）

社說 鮮滿一如體制の前進

一

國家盛興のことあつて以來ここに僅か十有一歳、滿洲帝國今日の目覺ましき生々發展の姿こそまことに世界の驚異であらねばならない。建國當時、北邊の情勢なほ混沌たるものがあり、中國を初め東亞諸民族また無明の深淵に沈淪して、全東亞の天地は實に不安の絶頂に達してゐた。この嶮しき嵐の中に滿洲國は呱々の聲をあげたのである。

この間幸ひにして英明の皇帝上にあり、輔翼のあるところに從つてよく世界の複雜なる情勢に即應、鋭意國家目的達成のため建國一致の精進をつゞけた滿洲國民の大いなる努力があつたとはいへ、なほその前途に對し一抹の暗影を感ぜずにはゐられなかつたことを我々は正直に告白しなければならない。

二

然し滿洲國その後の隆々たる國運の發展はどうであらうか。國家の紀綱は大いに張り、國內治安は安定して國榮また大いに發展し、かくして國威は四海に滿ちて萬邦の景仰を受くるに至つた。まこと、世紀の奇蹟ともいふべきか。然らず。それは斷じて奇蹟ではない。そこには自らなる二つの因がある。その一は帝德の然らしめるところ、その二は我が日本帝國の八紘一宇の精神に基く道義の支援である。滿洲帝國十年の成長は一朝一夕にして成つたのではない。滿洲國皇帝陛下の高德によることは申すまでもなきことながら、なほ日滿一德一心の大精神がそこに與せずして南北を貫く一誠に開花し、結實したことによるのである。鮮滿一如の精神に基く緊密なる提携、相互扶助の誠意また正にその一翼を荷負ふものであらう。

三

鮮滿の關係はそもそく一衣帶水、大陸兵站基地としての地理學的緊密なる關係を基底として今日に及んでゐる。滿洲事變以後內地經濟、文化の中繼的役割に於いて、そして同じく大陸兵站基地としての役割に於いて、鮮滿の關係は更に密度を加へた。然し鮮滿兩者とも大東亞戰爭勃發まではまづ自分の成長發展に專念しなければならなかつた。鮮滿の政治、經濟、文化の分野に於ける交流提携もあくまで夫々に於ける自給自足體制の樹立下に置かれ、若くはそれが遂成手段としてのものであつた。然し、それがやがて同一の方向に向つて同一の目標の下に邁進しなければならなくなつた鮮滿共通の大道を築くための強力な礎石であつたことはいふまでもない。

四

昭和十六年十二月八日、畏くも大詔渙發せらるゝや、滿洲國皇帝陛下には、即日詔を發し給ひ『死生存亡斷シテ分擔セス』と宣明あらせられ『東亞ヲ定ノ功ヲ輔ケ』て一般すところなからんことを以て國民を勵まし給ひ、昨年三月一日の建國十周年詔書には『親邦ノ天業ヲ翼贊シ』て遺憾なからんことを欽諭あらせられたのである。即ち滿洲國はこの大戰爭を契機として、國力の凡てをあげて、帝國に寄與する國策への轉換を斷乎として行つたのである。更に換言すれば、滿洲國は自分の自給自足體制の確立を企圖しつゝ對日寄與へ、國策の基底を置き換へたのである。このことを鮮滿關係について言へば、即ち鮮滿を主軸とする所謂北方圏の確立といふことに外ならぬ。かくて鮮滿一如體制はこゝに新しき共通の目標に向つて前進を開始した。

五

この北方圏構成の內容をなすものは精神的には日滿一德一心鮮滿一如の精神の確たる把握であり、それを基礎としての物的面は即ち、物資の增產交流、電力の共營、移民の送出、技術の交流、輸送體制の調整である。しかも見よ、それらの新しき體制は鮮滿の努力によつて、あるものは既に緒に就き、あるものは既に進展を開始してゐるではないか。かくの如き鮮滿の相互扶助、敢然一體なる體制は曾て大陸史に見ざるところであらう。然し歷史の如何に拘らず、鮮滿のこの緊密一體は帝國をして盤石の安きに置くものである。我々は鮮滿が現に努力しつゝある北方圏確立の礎石が一つ一つ築かれて行くことに限りない自負と喜びを感ずる。大陸としての政治的基盤は既に出來上つた。我々は更にこの基盤を固め、鮮滿一如體制の完成へ邁進すべきことをこゝに誓ふのである。

行政查察隨員決る

【東京電話】去る四月廿八日初の行政查察使として鈴木國務相が勅命せられ、五月十日頃より數日間にわたり神奈川縣下の諸官廳、工場などに對し行政查察が行はれることゝなつたが、政府は行政查察使の隨員ならびに附を關係官廳および鐵鋼統制會の主務者の中から銓衡し、今回任命せられた、四日發令した隨員十三名は山田內閣調查官をはじめ柏原企畫院第二部長以下企畫院關係官六名、內務、商工、鐵道、厚生ならびに海務院關係官各一名であるが、隨員中の異色は一の民間人として鐵鋼統制會理事長渡邊義介氏が唯つて任命されたことである、なほ行政查察使附としては山下技術院參議官兼企畫院調查官が任命された

內閣辭令

- 內閣調查官 山田秀三
- 企畫院部長 柏原兵太郎
- 企畫院調查官 吉積正雄
- 同 二宮[illegible]
- 同 矢牧章
- 同 岡崎文勳
- 企畫院書記官 林敬三
- 內務省防空局長 上田誠一
- 商工省金屬局長 津田廣
- 海務院次長 安田大助
- 鐵道官 堀木鎌三
- 厚生省勤勞局長 持永義夫

行政查察使隨員被仰付 命鈴木行政查察使隨員 渡邊義介

行政查察使隨員被仰付勅任官を以て待遇せらる 命鈴木行政查察使隨員 技術院參議官兼企畫院調查官 山下謙治

命行政查察使附 命鈴木行政查察使附

企畫院に交易協議會を設置

【東京電話】政府は昨年十月の閣議において交易統制および價格調整に關する件を決定、自來企畫院を中心としてこれが具體策を檢討中であつたが、今回成案を得るに至つたので、四日の定例次官會議に交易協議會設置要綱を上程各次官とも異議なくこれを承認決定した、よつて右交易協議會は近く企畫院に設置されるが、その構成は企畫院次長を會長とし、關係省等官を委員として交易計畫ならびに交易價格調整兩豫算關係の基本的事項につき調查協議を行ふことゝなつてゐる

雨中壯烈の包圍戰

冀西、冀中匪の最後迫る

【京漢沿線〇〇前線四日同盟】敵匪〇軍區殲滅中のわが軍は泥濘惡路を物ともせず意氣ますく軒昂敵殲滅を期して一路猛進し續けてゐる、すなはち阿部部隊は二日六時半（完縣西北十五キロ）において冀中軍區系第十八團約三百の敵と遭遇、雨中に壯烈な戰鬪を交へてこれを潰走せしめ追擊部隊は大岸（唐縣北方廿キロ）南方において敵四百を捕捉、猛攻を加へて敵屍五十の戰果を擧げ山口部隊もまた前夜來の雨を衝いて石赤（唐縣北方）に突入した

一方東北方より進擊中の大江部隊は二日北淸醒附近において有力なる敵匪團と激戰を交へ敵屍八十捕虜廿を得、引續き殘敵掃蕩中である、なほ捕虜の供出その他を綜合するに冀中軍司令官呂正操および同政治委員程子華は早くも軍區を拋棄逃亡した模樣であるが、冀西、冀中兩匪の大部分はわが包圍圈內に在つて逐次便衣化し大狼狽を極めてゐるといはれる

奪火鎭攻略 戰綜合戰果

【太行山脈前線四日同盟】蔣系第廿七軍の敗走部隊が不落を誇つて頑強に抵抗をつゞけた奪火鎭攻略戰は、わが鶴見、吉村、高村、笠原、村川の諸精鋭の肉彈突擊によつて一日遂にこれを占領引つゞき同地周邊に熾烈なる掃蕩戰を續行し第廿四集團軍殲滅作戰に華々しい最後を飾つたが三日までに判明せる綜合戰果は次の通りである

敵遺棄死體五三一、捕虜六九四、鹵獲品、迫擊砲一、重機三、輕機二五、小銃三七九、擲彈筒一八、その他武器彈藥多數

山東半島掃蕩戰果

【青島四日同盟】山東半島に殘存する蔣共軍を連日掃蕩中のわが羽生、須川、長谷川の各討伐隊ならびに治安軍魯警備隊が四月廿日から五月一日までに擧げた綜合戰果は……八、捕虜三五、……五、輕機九、手……

米造船計畫全面的失敗

又もトルーマン委員會暴露

【ブエノスアイレス三日同盟】ワシントン來電＝米國の軍需實績に關し、あらゆる角度から調查を行つてゐる上院のトルーマン委員會は二日つぎの通り發表した

米國は反樞軸聯合國に對し武器食糧を供給するに十分な船舶を有してゐない、コンクリート製貨物船建造計畫も全面的に失敗し、依然貨物船で輸送してゐる、現在では油槽船の甲板を利用して輸送するやうな狀態である、さらに船舶建造日數についても造船所によつて著しい相違が見られる、たとへばオレゴン州の一造船所ではこれまでリバーティ型船舶十二隻を建造してゐるが、一隻平均卅萬三千八百五十八の勞働時間を要し海軍造船會社では同じくリバーティ型船舶一隻を建造するのに百六十二萬六百七十九の勞働時間を浪費してゐる

米飛機は六分間に一機

ネルソン生產高を誇示

【ブエノスアイレス三日同盟】ワシントン來電＝米國戰時生產局長官ドナルド・ネルソンは三日米國の飛行機增產狀況を發表し『米國は四月中に飛行機約六千を生產した、それは一日二百廿三機、六分間一機の割で生產してゐることを意味する』と言明した

青木亞相パレンバンを視察

【パレンバン四日同盟】南方各地戰跡ならびに建設狀況視察中の青木大東亞相は一日午前十一時空路パレンバンに到着、直ちに各戰跡ならびに〇〇その他現地視察をなし當地に一泊、二日午前九時十七分發空路〇〇に向つた

定例局長會議

定例局長會議は四日午前九時第三會議室に開會、十二時終了した、主なる發言次の通り

- 農林局[illegible]課長 適時降雨あり府水池狀況、麥、蔬菜に著しい好影響を齎した
- 伊藤專賣局長 滿洲國の專賣局長會議出席の報告
- 兵頭企畫室長 十八年度勞動動員に關して
- 八木警務局保安課長 地方選擧について
- 渡部司政局地方課長 府邑面選擧に關し
- 眞原勅任事務官 地下資源の開發狀況につき

それぞれ說明報告をなした

總督府辭令（三日）

- 道立醫院醫官（大邱）朝鮮 平野寬一 勅任官を以て待遇せらる
- （司政）本府屬 正宗保之 任本府道理事官 黃海道在勤を命す（六）
- 任本府道技師 咸南道在勤を命す（六） 宮崎國太郎
- 任本府道技師 忠南道在勤を命す（六） 嘉村三男
- 朝鮮道立醫院書記兼本府咸鏡北道書記 磯田廣作 任朝鮮道立醫院事務官 咸鏡北道在勤を命す（七）
- 朝鮮產業技師に任す 慶尙北道產業技師に補す（七待） 橋口修己
- 全羅南道產業技手 長島勘治 朝鮮產業技師に任す 全羅南道產業技師に補す（八待）
- 江原道土木技手 田中周輔 朝鮮土木技師に任す 江原道土木技師に補す（七待）
- （咸北）朝鮮道立醫院事務官 淸水喜代造
- （咸南）朝鮮產業技師 宮崎國太郎 依願免本官
- （慶北）同 嘉村三男 願に依り本職を免す（各通）

陸軍司政長官（四日）

任陸軍司政長官（二） 加藤傳次郎

消息

- ◇草間秀雄氏（前產金振興副社長）五日〃あかつき〃で離城、自宅東京市淀橋區柏木町三ノ三六三へ引揚ぐ
- ◇穗井源輔氏（朝鮮信託社長）東上中の處六日午後歸城豫定
- ◇林達夫氏（朝鮮製鐵常務）四日午後平壤より入城
- ◇北昤吉氏（代議士）四日入城半島ホテル

友好と相互の依存
鮮滿經濟構造の發展

大東亞戰爭の現段階は大陸の經濟に特殊な任務と役割を課してゐる、即ちこれは（一）重點物資の對日寄與擴大、（二）消費物資の自給强化、（三）大陸相互の連繫の强化といふ三點に要約することが出來るが、われらは今此處に鮮滿物資交流の面より見たる兩者の相互依存關係を契機として取上げ、決戰段階に即應する鮮滿經濟の建設が現實に如何なる方向に進んでゐるかを概觀することとしよう

まづ鮮滿經濟の構造に一致する性格は、遲れた農業經濟の中に近代的工業が、資本の循環を異にして、といふよりは資本の循環が主として近代工業の面にのみ行はれるといふ點に見られる

しかもなほ兩者には多大の差異があるのであつて、資源分布の相異はもとより、工業發達の程度に於いても、滿洲國はその建國の當初から重工業七割、輕工業三割といふ狀態であり、戰力增强の基幹部分たる重要産業は非常な發達をしてゐるが、國民の日常生活を保障すべき輕工業の發達が不十分である

しかるに朝鮮に於いては昭和十五年工産額の部門別比重は重化學工業五割强、輕工業四割强といふ狀態である、この比率は滿洲國の比率とは計算の基準をことにするので比較し得ざるものであるが、なほ朝鮮産業構成の一面を語るものである、しかも朝鮮には滿洲に缺い中小企業が大なる比率をもつて存在する、また農業の面より見れば朝鮮の農業は曾つて内地市場を目當とする

米作

を基軸とするものとして發達し、宇垣産業開發政策以來『農工併進』なる政綱に基いて躍らんとしてゐる

滿洲農業は、大豆その他所謂『特産』を基軸として發達したが、外國市場の閉鎖と戰時下食料不足の現狀に鑑み、食料の增産が刻下の急務となつた

以上の如き經濟の基本的構造の下にあつて、大東亞戰爭勃發以前には、この兩大陸國は何れも農産物を日本内地に輸出し、日本内地より資本と建設資材及び生活必需品を輸入してゐたのであるが朝鮮は

宇垣

總理以來の産業開發政策がその工業化を促し、若干の工業製品の輸出をも行ふやうになつたのである、試みに昭和十三年の數字を拾つて見よう

同年の輸移入額十億五千五百萬圓、同輸移出八億七千九百萬圓、このうち内地との取引が輸移入の八割七分、輸移出の八割一分を占めてゐたが

滿洲國との貿易は爾餘の對第三國輸出額の七割二分、同輸入額の四割三分を占めてゐたのである、更に

南方

圏に對して北方圏たる朝鮮、滿洲、支那といふものの經濟は、新たなる角度から再檢討する必要を生じ、特に朝鮮及び滿洲には大東亞建設の基幹部隊としての役割が賦課されたのであるわが朝鮮に於いてもこの意味は小磯新總理の中心政綱たる『内鮮一體』といふ言葉によつて表現

戰爭勃發以來、特に重要な變化を遂げてゐる、即ち皇軍の赫々たる戰果によつて南方諸地域が新たに日本經濟力の全的な財産及び負擔として登場すると共に、この新らしく加つた

經濟の經濟事情は、大東亞戰爭の現はれてゐない狀態である

朝鮮より滿洲への主要輸出品目を掲げると米、鮮魚、乾魚、醃魚、砂糖、う綿織物、セメント等であり、うち綿織物は内地製品の中繼貿易を含むとしても、セメントは朝鮮に於いて生産されたものであつて、このほか少額づつの工業製品、たとへば魚油その他の數字が見られる、また滿洲國よりの主要輸入品は粟、黍、大豆等の雜穀、作蠶生糸、石炭等であり、工業製品は殆んど貿易表に現はれてゐない狀態である

せられ、こゝに大東亞に於ける朝鮮の地位の主體的把握が行はれてゐるのである、朝鮮の青年達は今日戰爭の第一線にあつて内地青年と肩をならべて戰つてゐるが、經濟的面に於いても『大東亞の主體』たるべき發展方向を生まねばならない、滿洲國に於ても事態は同樣である

然るに互に相隣するこの大陸の兩地域は、從來建設の客體として生長して來たのであつて、今日に於ては未だ十分に主體たるの地位に轉化しきつてゐない、それにも拘らず今日の情勢は、われ等が互に

相援

け相補つて急速に自己を確立すべき事を命じてゐる、鐵、石炭その他重要原料物資並に食料の增産は日に夜を繼いで强行しなければならない

從來内地に仰いでゐた輕工業製品は、極力消費の規制を行ふとともに既存工業の育成、代用品工業の發達による自給自足體制を確保しなければならない、物資の不足に對應する通貨の價値下落を阻止するため生活の切詰めと貯蓄の强化が行はれなければならぬ

かくして國民生活には最小限を、戰爭資材には最大限を確保しなければならないのである、同時に第三の問題たる大陸相互の連繫の强化といふことが不可缺の問題となつて來る、われらは鮮滿の

連繫

といふ點について具體的な事例を容易に見出し得るであらう、たとへば鴨綠江電源の共同開發がそれである

さきに京城に開かれた第四回鮮滿連絡會議に於ける物資交流計畫がそれである、また近くは昨年の旱害に對する滿洲國の溫かい援助がそれである、電源の開發については近く完成する水豐發電所の全發電量を鮮滿に折半することによつて、兩地の輕金屬工業並に化學工業は一層の前進を遂げるであらう

三月中旬京城に開催された第四回鮮滿連絡會議に際して、朝鮮側の對滿期待物資は、物動物資として鐵鑛石、有煙炭

糧穀

等廿三品目、物動外物資としてガラス板、豚毛、甘草等十品目

滿洲側の對鮮期待物資は物動物資として鐵鑛石、カーバイト、硫酸、無煙炭、鑛山機械、特殊鋼、機械油等、物動外物資として電球、魚粉、緬羊等四十七品目、その他滿洲國の對鮮委託製鍊物資として銅鑛石、鉛鑛石、スチール・ボール、鋼線材であり、朝鮮は滿洲國の林業用種苗の需要に應ずることとなつた

石の諸物資が大陸兩地域の決戰經濟確立に對する役割は蓋し甚大である、最後にわれらは兩地域の友情が固く結ばれつつある食料問題について一言する必要がある

昨年わが朝鮮は近年稀な旱害を受けて、十七年度實收一千六百萬石、即ち平年作を下廻ること實に八百萬石といふ大減收であり、本米穀年度の當初小磯總督は概算不足額七百萬石と發表、これに對して對外期待量の〇〇は滿洲雜穀の輸入によつて賄はれてゐるのである

今日滿洲國の食料事情が決して樂なものでないことは、われらのよく知るところであるが、かゝる際にも拘らず滿洲國が多大の雜穀を割いて朝鮮に送つた事に對しては多大の

感謝

を捧げるものである

朝鮮に於いては十八年度增米二千八百萬石を目標として必死の努力を盡してゐる、しかも今日農村の勞力不足は未だ急迫するに至らないが、當分この不足が減ずる見込みはないのみならず一層の逼迫が豫想されるのである

また朝鮮に於ける米穀增産の桎梏をなして來た肥料も不足を告げてゐる狀態である、而して農業機械の如きものも大量に供給するを得ないといふ困難な事情の下にあつて、增産をなしとげるには眞に大いなる決意と實行とを必要とする、耕起作業の如きも一回にて深耕を得ること が出來なければ二回の耕起を行つても增産に邁進しなければならぬ、今日働くことは明日生きることであり、今日働くことは明日戰ひに勝つことである

かくのごときは滿洲國に於いてももかゝる決戰的活動を通じて、こ事情を同じくするであらう、しかこに重要な經濟構造の變化が徐々に生起してゐるのである、朝鮮の農業は内地市場に依存することを止揚しつつある、市場としての朝

いふことは如實にこゝにも生起してゐるのであつて、われらの朝鮮はこの決戰を戰ひつゝ自己を昂めてゐるのである

滿洲國にも亦かゝる現象は見られる、そしてこれこそ東亞解放の主體的地位に高められた大陸兩地域の歷史的發展であつて、兩地域は倶に相携へて聖戰完遂に邁進しなければならない、かくの如くして兩地域間の相互の關係は將來物資の面に於いても益々深く且つ大となるであらう

そして物動物資は大陸の建設並に對日寄與を目的とするもので

需要

あるが生活必需品、食糧に於いても、現在朝鮮は全幅的に滿洲の

を充し得る狀態には無いとしても米と雜穀との交換といふ形に於て、又原料問題を解決すれば纖維等輕工業製品の輸出といふ形に於て兩地とも自らの經濟力を高めつゝ相互の依存と友好關係は益々深められて行くのである

鮮滿の紐帶
水豐ダムの役割は重大

鮮滿の廣大な地域に跨つて國際的として鮮滿鴨綠江電力運絡運用委員會は四月卅日、五月一日の二日間京城に第一回委員會を開いたのであつたが遂に本問題の具體的取決めの成立をみずして終了した、本問題は國境河川が包藏する巨識かつ有利なる開發條件を有する電力開發を朝鮮側に於いて促進し遂にこれを

國際的

になすの結論から昭和十二年日滿議定書を協定しあらゆる面から兩地域の折半原則を規定して鴨綠江水豐ダム及び、その他國境河川本流發電方式を決定、朝鮮及び滿洲兩鴨綠江水力發電會社といふ二頭一體會社を設立して當らせるととなつたのである

當時に於いて兩地域に於ける電力事情は朝鮮側が昭和六年第一次電力統制大綱を決定、强力に統制進行をしてをり、既に周波數の如きも六〇サイクルに完全な統一をみてゐるのであるが、滿洲國に於ては康德元年（昭和九年）統合、中心たる滿洲電業を創設同時に亂立した企業とともに亂脈を極めた周波數も五〇サイクルに統制することに決定、康德二年から着手完遂したのである、更にその後統制力の强化を期し康德七年末滿洲電氣事業統制要綱を決定國家管理體制をいよく明確不動としたのである

兩地域の面には大きい落差があるために同一價値に對する

價値判斷

を異にするのみならずこれが電力の基礎産業たる性格の點から兩地域の産業立地條件に至大なる影響と變動を與へることになる、かくして鮮滿間には原理的一致はあつても具體的に折半原則の機械的運用を適用しなければならないととなる、運用委員會はあくまで折半原則を明示し、電力配分のみの獨自な運用は事實として成立しないことを確認したのであつた

統制經濟、地域主義が到達した宿命的結論であつたが、恐らく機械的折半運用の原則は永久的なものとして保持せられざるを得なかつたものであり、また保持せられるものであることを明かにした

寫眞（上）水豐發電所のダム（下）世界一容量〇萬キロ發電器群（檢閲濟）

半島食糧に關心
菱本鮮米協會理事談

鮮米協會總會

輕金工業懇談

きのふ商議で

國防獻金

本社寄託獻金

株式市況（四日後場）

文化　東亞の使命【2】
武者小路實篤

實際今度の戰爭で一番嫌な役目を演じてゐるのは米國である。米國以外は已むを得ず戰つてゐる國ばかりであるが、勿論英國のやうにあまり慾が深く、そして一度取つたものはどんなに不合理でも決して吐き出すことをしないが故に戰爭をしなければならなかつた自業自得の國もあるが、しかしそれでも米國に比べれば、已むを得ず戰つたと言へないこともない。しかし米國だけは戰はずにすめたのである。そして戰はなかつたら當然世界中で一番利益を得、益々富める國になり、國民は安逸を貪ることが出來たのである。ところが

てゐる人は東亞でも多くはないかも知れない。しかし知らず知らずすべての東亞の人はその爲に勵いてゐるのである。そして好むと好まざるとを問はず、この大きな事實は着々と進行しつつある。

不連續線
科學心

ラジオの簡單な故障も、自分では修繕出來ないし、電燈のヒューズが切れたといふやうな時でも、すぐ電氣會社の人に來て貰はなければ直らない。それ程にも、僕等には科學的な知識がない。

その點になると、今日の子供は、模型飛行機も作るし、いろいろな機械の分解にも興味を持つ

挺身、農報の陣頭へ
府邑面に近く推進隊結成

農業報國の國民總力隊ともいふべき農業報國推進隊が近く結成され決戰食糧陣の中核的活動を展開することとなつた、皇國農民道を體して時局に即應し農業の自家經營の改善に努めて常に増産の先驅者となつて自分の經驗を部落農家に及ぼしその餘力をもつて農業指導の連絡にまたこれを末端への滲透徹底に挺身するのが〝農報推進隊〟の使命である。

中の適任者を委囑する、かくて推進隊は部落を單位としてする國民總力推進隊中、道知事が任命の者をもつて組織、總督府では毎年優秀な隊員を選拔して内地に派遣して鍊成させる、これに農村指導關係者も隊員の指導に不斷の注意を拂ひ農□増□の中核者として任務完遂に支障なきやう物心兩面の指導を行ふのである、これに並行して總督府では女子推進隊を設置する計畫を立て目下着々準備をすゝめてゐる

隊長及び副長、顧問の機構により、隊長は府邑面長、隊副長は府邑面職員または隊員中より選出、顧問には學校、警察官署その他農業關係團體職員邑面は隨時召集、任務の周知の素質を鍊成指導するため府警察及び相互の連絡を圖る一方、少くとも年に一回は農民道場で合同鍊成に鍛へ、

春宵、稱へ奉るは彌高き帝徳の數々
鮮滿首腦、和かに懇談

鮮滿首腦者懇談會（於新義州鐵道ホテル）向つて右より小磯總督、後藤鎭海警備府司令長官、武部滿洲國總務長官、張國務總理、松木總務廳次長＝大塚特派員撮影、新義州より同盟携帶電送機にて電送＝

【新義州にて村岡特派員發】滿洲國皇帝陛下の安東地方巡狩に際し、一衣帶水鴨綠江の流れを挾んで國境道の首部新義州は戸毎に國旗を掲揚、善隣敦睦の慶祝を擧げ、また日滿一德一心鮮滿一如の紐帶はますます強化されたが、四日悠久の流れ鴨綠江に斜陽映える午後五時五十六分、滿洲國側隨員張國務總理、武部總務長官、小尾大佐等は新義州鐵道ホテルに小磯總督を訪ね、また同ホテルにあつた板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官に對しそれぞれ鄭重な挨拶を行つた、隨員を從へて張總理一行ホテルに車を連ねて到着すれば、小林秘書官、松本、清水兩陸海軍御用掛、商井、瀬、服部總督府各書記官、日笠平北警察部長等玄關に出迎へて總督應接室に案内、小磯總督、板垣軍司令官、後藤警備府司令長官、相次いで應接室に入り、温かい握手を交して挨拶ののち、小磯總督の勸めで圓卓を圍み膝を交へて和やかな懇談に移つた

張國務總理には久濶の言葉を、武部總務長官、小尾大佐には過ぐる日京城での大陸連絡會議に於ける御苦勞の言葉を交し、話題は極めて和やかな情景を醸して進められる、牡丹の盛花一瓶が紅の色こぼれるやうに再々の情を添へる

朝鮮が滿洲側から頂戴した榮譽のお禮も出たであらう、固苦しい話題は避けられたであらうが、懇談は約一時間に亘り續いて特別室での晩餐に移り、和やかな話題は食卓の上に運ばれた、食卓での懇談は約一時間歡を盡して同九時お互に溢れる濃容のうちに濃やかな謝辭を交して席を立ち、小磯總督、板垣軍司令官、後藤警備府司令長官揃つて玄關に見送り、張總理一行は鴨江を渡つて安東の宿舍に歸つた、會談後記者團と會見した小磯總督は謹んで

鮮滿一如といふことが申されるが、この熟語のみから觀察しても、今回はじめて、隣邦滿洲國皇帝陛下を、流れ一つ隔てる安東にお迎へ申上げたことの感激は今更であるが特に自分は滿洲建國當時現地に勤務した經驗から感激押へ難く、最敬禮を終つて御顏を拜した時、又その溫かき御前に進み握手を賜つた時のあの氣持はとても口で言ひ現すことは出來ません、やがて板垣軍司令官、後藤警備府司令長官と同列にて更に拜見を差許され親しく御感勞の御言葉を賜ひ、大東亞戰爭の眞只中、時局を勝ち拔くため一段の奮勵努力を要する旨、有難き激勵の御言葉を賜なり退出したのですが、陛下には一意皇國日本の皇室を仰ぎ奉られつゝ日本を親邦と呼ばれ一切をあげて大東亞戰爭を勝拔くため夙夜御專念あらせらるゝ帝慮を畏み恐懼に耐へず、感激に滿ちてをります

と語り、また張國務總理、武部總務長官等との懇談晩餐會の模樣について次の如く語つた

今晩はまた老朋友たる張國務總理の、朗かな包容力ある諧謔に富み、而も一意皇帝陛下並に滿洲國の發展以外何ものもなき姿に接し又とない快感に打たれた會談は前後一時間餘に亘つたが、談話の內容はこれ悉く陛下の御高德を稱へ奉るほか何物もなかつたのです、又今夕の懇談の間に洩れ承つたところによれば、新京の帝宮における窓扉等の裝飾及び金具其他シャンデリヤの金具など取外され、御下賜されたるに對し、軍司令官より外觀を損はざる程度、代用物件の準備整ふまで御猶豫方をお願ひ申上げたるに對し、外觀など何等意に介せられず、一刻も速かに取り外して下賜あらせられる旨仰出させられたる由、尙また國務院その他帝宮華什器など、現官舍の諸施設御備品にしても御不便多からうべく、速かに御返還を取り急ぐの必要に關し奏上したるに對し、陛下には、大東亞戰爭遂行中鐵材の所要も多かるべく、今後工事を中止し腐蝕のおそれある鐵材に對しては單にコンクリートを以てこれを被覆しその腐蝕を防止すべき旨仰出だされたるが如き、その他數へ來れば帝徳を稱へ奉る事例は枚擧に遑なく、觀じ來れば隆盛しくも發展しつゝある滿洲國に帝德彌高き皇帝陛下を仰き得た感激を更に一入深くした次第である

戰蹟に捧げる一生
九連城生殘りの老勇士　影山翁感無量

【寫眞＝語る影山氏】

【安東にて井垣特派員發】日露戰役の激戰の地九連城は風雪さはやかに流れ、東洋平和の礎石となつて散華した先人の芳魂を鎭めてゐるが、勝の裡に幹ての九連城に死鬪した戰友の霊を描いて實に卅九年、九連城戰蹟顯彰を一生の念願としてゐる九連城

生き殘りの老勇士がある、安東三省精米所長影山常三郎翁（六一）がその人で、翁は九連城の戰鬪に軍曹として奮戰したが血を浴びた戰鬪の追憶を斷ち得ず、明治卅八年故鄕栃木縣から再び渡滿安東に居を構へて精米業を營むうち九連城の戰跡には草生ひ繁つて顧みられなくなつたのを痛歎、大正の末期ごろから私財を投じて滿人の手にあつた戰跡を買ひ求め吉野櫻、唐楓など千數百本を植樹、戰跡保存會設立の議起るや一切を寄附して戰蹟顯彰に盡力してゐるだけに、翁は感慨の想ひに言葉をはずませて語る

第一軍が鴨綠江岸まで進撃して朝鮮側白馬山の北方に集結したのは四月の廿日ごろと記憶する、敵の

有終の美を收めよ
總選擧を前に高京畿道知事談

【寫眞＝高京畿道知事】

府邑會議員、面協議會員の總選擧は新たなる推薦制により來る廿一日から三百萬道民の決戰の意氣を披瀝して行はれるが高京畿道知事は〝府邑會議員、邑面協議會員の總選擧に直面して選擧民各位に告ぐ〟と次のやうな談話を發表した

府邑會議員、面協議會員の總選擧は愈々本月廿一日一齊に施行せられるのであるが

今回の總選擧は既に發表せられた通り推薦制により選擧を實施することになつた事は一般に熟知せられてゐる通りである、各選擧區においては過般この方針に基き夫々候補者推薦會を組織せられ、該推薦會において愼重銓衡の結果、去る四月廿二日以降各府邑面においてそれぞれ立候補者の推薦届を濟した次第である、抑々今回の總選擧に於て推薦制を採用するに至つた所以のものは忠良有爲の人材を府邑面行政に參畫せしめむとすることで、決戰下に於て選擧に關する

無用の競爭を避け、候補者も有權者も徒らに選擧に沒頭するが如きことなく安んじて銃後國民として總力を結集し征戰完遂に邁進せしめむとする一點に歸着するのである、然るに一部に於て推薦制の是非を論じ或は推薦會の推薦行爲に對して種々の非難論評をなす向があるやうであるが

苟くも當局が時局の要請に基き推薦制を採用することに決定し、その推薦會に於て愼重檢討した結果適當なりと信じた人物を銓衡した以上個々の觀察に基きこれを批判論評して民衆をしてその歸趨に迷はしむるが如き言動は

大いに愼むべきであり

この際當局の方針を信頼し今次の總選擧をして有終の美を收めしむるやう協力的態度こそ時局下選擧民の責務であると信ずる次第である、候補者も選擧人もこの趣旨を理解し……

總てを君國に……

半島學童の友
〝京小〟生れて五年
本社發行　あす記念の少國民大會

本社發行の『京城日小國民新聞』は去る天長の佳節をもつて創刊五周年を迎へた、半島百六十萬學童たちの心の友として隆々たる發展を遂げてきたが、創刊五周年を記念して六日午後一時と六時の二回に亘り府民館大講堂において府內各國民學校學童並に父兄三千名を招いて意義深い少國民大會を開催する、先づ晝の部は府内七國民學校代表兒童約一千七百名を招待、高宮本社々長の挨拶、稻荷朝鮮教育會主事の祝辭について陸軍少將安倍良夫氏の『大東亞戰爭と國民の覺悟』と題する講演があり第二部に移り京城恩賜科學……

曠野に打込む鬪魂
增産へ總進軍の在滿半島人

【寫眞＝樂土を築く開拓民】

建國十周年、燦々たる國威を中外に宣揚して建國十二年若く逞しき滿洲國の帝恩に浴して、在滿半島人百五十萬は王道樂土を讃へ大東亞戰下愈々重きを加へる北邊の開發に孜々として敢鬪し大東亞共榮圈の一環をなす兵站基地滿洲をいやが上にも膨らせずんばやまずの氣魄を傾け、之こそ大東亞戰爭を勝ち拔く鍵であると、半島人の行く處全滿洲の野に山に畑に希望に滿ちた鍬が、帝恩を謳歌しつゝ鍬を、ハンマーを揮つてゐる、いまこれら在滿半島人は〝徵兵制實施〟の準備を中心に鍊成と增産への總進軍を續けてゐるのだ、以下は徵兵制への構へと邁進增産に挺身する在滿半島人の實態である

徵兵制實施の歷史的な快報は在滿半島人百五十萬にとつてもかつてない大いなる歡喜の旋風を捲き起し〝我れこそ國防第一線へ〟と感激光榮ある皇軍の士になる感激に奮ひ起ち忠良なる皇國臣民としての自覺を鞏固にし大東亞建設の尖兵としての新たなる赤誠を燃やし十九年度までには一人の無籍者もなく、國語も全解しようと總督府滿洲國政府、協和會等の指導のもとに良き兵隊さんへの準備を急いでゐる

まづとりあげられたのは就籍運動で既に安東、通化、間島、錦州の各省外約廿縣の無籍者は就籍を完了したといふ好調振り、何しろ當局でも今年度末までには在滿半島人百五十六萬二千二百三十七名（昭和十七年十一月現在）の三割乃至四割の無籍者を全部就籍させる意氣込みで總督府からは六十數名の職員が派遣され滿洲國政府や大使館等と緊密な連絡をとり

強力な援助のもとに急速に就籍の實現をみつゝあるので、また半島人もいまは光榮ある徵兵制の目標を示され、これは他人事ではない、と率先して就籍すべき自覺と相俟つてその効果は日一日と擧つてゐる、就籍運動とゝもに在滿半島人が一齊に蹶起したのは國語全解運動を含む鍊成である、これも滿洲國政府の協力援助のもとに徵兵制度施行準備委員會を結成し各省、縣にもそれぞれ委員會を作り約四十ケ所に下部組織を完成、とくに滿洲國側は去る三月一日から寄留法を施行し總督府側と密接なる連繫を保持しくなり、總督府の施設である鍊成所を恒久的に制度化さんとする熱意をもつて協力してゐるが鍊成の目標は在滿半島人壯丁見込數のうち國語未解者を約半數と見て之を對象とし全面的に展開してゐるこの施設としては鮮內の特別鍊成所に準じ三十六ケ所の國民學校內に特別鍊成所を設置し六ケ月間を講習期間として國語を百廿時間、教練を五十時間と定め素質の向上を圖り故鄕の人達に負けてはならじと皇恩ならびに帝恩に感謝しつゝ譽ある兵士への道をひたむきに邁進してゐる

在滿半島人の約八割の大多數は農業に從事、しかもその過半數は間島省及び東邊道に定着し日夜の奮鬪は曠野を拓き滿洲國の農業に數十萬町歩を開墾し滿洲國の□糧充實に貢獻してゐる、だが滿洲事變直前に想ひを回らせば當時の苛斂誅求、或は小作料に高騰の支拂ひに苦しみ農耕資金もとより日々の生活にも追はれ惡戰苦鬪を續け〝訴へられざる告〟の哀れな姿であつた、それが滿洲事變勃發し次いで興つた王道樂土滿洲國の創建は苦難に喘いだ之ら鮮農のうへに天來の恩惠をもたらし樂業への堅なる發足をなした、かくて昭和六年度に鐵嶺、八年度に營口（營口）河東、同年度に興亞（綏化）の四ケ所に恒久的安定農村としての安全農村を建設、昭和十年度には三原浦に安全農村を建設し自衞自衞……

村の一部を除き土地代家屋費の……年賦償還を……

新興滿洲國の……

北邊開發の……

徐前駐日大使總督府を訪問

英潜水艦擊沈

【リスボン三日同盟】ロンドン來電＝英國海軍省は潜水艦ターピュラントが期日を經過しても歸還せず擊沈されたと認められる旨三日發表した

日赤の優良兒表彰式

日赤朝鮮本部では健民運動中の行事として七日午後二時から内地人、同午後三時半から半島人の乳幼兒審査會優良兒表彰式を同講堂で擧行する

朝鮮軍に凱歌
大演武會第一日

柔道

【東京電話】紀元二千六百三年武の祭典武德會大演武會は四日京都武德殿において龍虎相搏つ熱鬪を展開したが、朝鮮關係の成績左の通り

▲柔道支部對抗一回戰（〇印勝）
朝鮮3―0愛知
〇住島―今野
〇結城―金崎
〇大木―中原

▲柔道二回戰
朝鮮3―0岐阜
〇生島―玉森
〇結城―二俣
〇大木―齋藤

朝鮮3―0岡山
〇生島（內股）―安田
〇結城（背負投）―難波
〇大木（巴投）―島崎

▲柔道四回戰
朝鮮3―0茨城
〇生島（優勢勝）―加島
〇結城（背負投）―森岡
〇大木（固十字締）―丹尾

海の戰士の糧 穀配給一元化

朝鮮海事報國團では海運增強策として船員用糧穀一元的配給の實施につきかねて諸般の準備をすゝめてゐたが、愈々これが第一回の配給を來る六月一日から實施すると……なほこの配給申請書の提出期限は五月十日までとして同團各支部、出張所では申請受理を開始したが申請に關する用紙類は……

生擴現地報告美術展

朝鮮美術家協會では先ほど國民總力朝鮮聯盟後援の下に會員五氏が鮮內各地に飛び、各種產業部門に挺身する逞しい產業戰士の姿を畫面に納め生產擴充の強化徹底に貢獻したが、その作品を一般に公開する『生產擴充現地報告美術展』を六日から十一日まで三越で開催するが、……

子供は五人以上
賑ふ『母と子の厚生展』

『國家の將來は國民の數によつて支配される、大東亞戰下、女子は成るべく早く結婚して五人以上の子供を生まなくては將來大東亞共榮圏の盟主として國威を輝かすことが出來ません、適齢に達したら早く結婚しませう……』會場のポスターを仰いで娘さんがニツコリ微笑む、兒童愛護、健民運動期間中の一日から九日まで社會事業協會、日婦本部主催、總督府、聯盟後援で丁子屋四階催場及び舞廊で『母と子の厚生展』を開催、連日の人氣を呼んでゐる、戰時下第二の國民を强く育てる爲に必要な女性の任務、子供の躾方、玩具、幼兒の食品等數千點が餘すところなく模型、ジオラマ、圖表で展觀され四日は一萬を超ゆる入場者で賑つた【寫眞＝母と子の厚生展覽會】

赤十字病院 健康相談

京城赤十字病院では健民運動に協力して六日午後一時から育兒保健、姙産婦健康、一般健康の三部門について相談を受け一般の利用を歡迎してゐる

婦人に兒童 愛護座談會

健民運動期間第五日の兒童愛護日に西大門署では午前十時管内の婦人約千名を東洋劇場に集めて兒童愛護座談會を開催するが、同日は日赤小兒科原博士並に高嶺病院長の兒童愛護に關する講演がある

文藝展開く 文報結成記念

朝鮮文人報國會結成記念文藝展は同報國會主催のもとに四日から三越四階の催場で蓋を開けた、會場には本年度半島文壇の榮譽たる國語賞、國民文學賞、朝鮮藝術賞等の賞狀、賞牌、原稿をはじめ著名作家の遺墨筆蹟を展示されてあり、終日觀衆で賑つた【寫眞＝文藝展會場】

班員擧つて早起き
賴もし新吉町東部町會

府内新吉町東部町會では町内から朝寢坊を一掃し合せて勤勞精神を叩き込まうと先月から管内八區に亘り各區別に早起會を開き、近隣の愛國班員を集め皆勤區長指揮の下に先づ宮城遙拜を行ひ引續き班内道路の清掃を實施して來たが、目下全鮮津々浦々に展開されてゐる健民運動に歩調を合せて聯盟の申合せ起床時間より卅分繰上げ去る一日から五時卅分より開會することに決定、毎朝老いも若きも區内廣場に集合、嚴かに宮城を拜して從來通り清掃作業を實施するほかラジオ體操も行つてゐるが、各區共出席率は頗る良好で、昨今の統計を見れば全班員の九割強たる四千七百名に達してゐるが、中でも馬山區長の指導する第七區は一人の缺席者もなく最も優秀であると同會でも折紙をつけてゐる

型破りの事務講評
總監自ら京畿道廳へ

田中政務總監は去月行はれた京畿道事務監察講評のため四日午後二時十分松坂秘書官、美根監察課長を帶同して道廳を訪れた、高知事以下各部課長の出迎へを受けた總監は直ちに知事室に入り少憩の後第一會議室で各課主任級以上を集めて一場の訓示を行ひ、次いで美根監察課長が講評案を讀み上げて總監を代表して答辭を述べ同午後五時總監は本府に引上げたが、道廳事務監察講評に總監が自ら赴いたのは今回が初めてである【寫眞＝道廳における田中總監】

街の訪問 "若き姿"に涙の苦心

軍、總督府後援の徴兵制宣傳映畫"若き姿"に主演の朝映專屬黃澈君が二ケ月に亘る信州白馬ロケを終へ三日夜元氣に歸城して撮影の苦心談を一くさり

何しろ内地に行つて現場を見るまで内地にあんな大雪の山があるとは思ひもせんでしたネ、いや全く驚いた、全篇を通じて最高潮場面はスキー遭難の場面で、軍隊と青年團數百名が特別出演して豐田監督も大ハリキリ、私を救ひに飛行機が飛んで來る場面の大寫しで嬉しさの餘りポツリと一粟涙を落さねばならんのですが仲々涙が出ません、雪の中に四時間坐つても涙が出ずに第一日を終り、二日目半日かゝつてやつと一滴涙が出ました、口惜し涙でしたがネ……【寫眞＝語る黃澈君】

靴下の闇嚴罰

李(三七)＝住所不定＝は嘗て闇女として各家庭を轉々として歩き廻り、最近は雜貨品の行商を營んで居たが、鍾路廠下二號品の小賣公定價格一足廿九錢を一足八十錢に、卸賣公定價格十足で二圓卅七錢を八圓廿七錢で賣却、計廿七圓卅三錢の經濟違反をなしたが、去る一月宗鍾路署に擧げられ、三月二日に送局、六ケ月の判決を受けた、なほ當局は今後もこの種經濟犯には徹底的に嚴罰を加へる筈

荷車に鍮器滿載
清雲校學童の獻納

府内清雲國民學校の兒童一同は自分達愛用の眞鍮製食器類をお國のために供出しようと各自が持ち寄つたのがザツト八百點、それを四日荷車一台に滿載して見原校長以下代表生徒六名が海軍武官府を訪れ獻納の手續きをとつた

また同校五年生の二班四十七名は同部季修學旅行の代りに甲乙兩組を二班に分け、第一班四十七名は同部校長以下藤崎、金田兩教諭に引率され去る一日午前八時廿五分京城驛發列車で出發、第二班五十四名は一日遲れて二日の同時刻滿下、正木兩教諭に引率されて扶餘に向ひ、半月寮でそれぞれ合宿訓練をみつちり受け作ら扶餘は奉參道の鋪

陸軍へ恤兵金 鍾路署へ寄託

"兵隊さんをねぎらつて下さい"と府内社稷町一六五ノ二香田玉飩氏は金百圓を持參、三日鍾路署を訪れ、陸軍へ恤兵金として獻金寄託した

城南中學生の聖地奉仕

聖地扶餘で尊い汗の奉仕を行ふべく府内城南中學校では四年生の

昔とつた杵柄、猛火と敢闘
本町三の火事に巷の防火美談

京城本町三ノ四三山口常治氏(五七)＝京畿道會計課勤務＝は去る卅日夜同町三ノ二三鰻飯商伊藤福さん方から發火、大騷ぎとなつた際、ただあわててゐる附近の人々を押し分けて猛火の中に飛び込み消防の水に濡れ鼠となつて消火に努め消防隊員を援助して最後まで奮闘をつづけ、附近の人々を感激させた、山口さんこそは嘗て京城消防署部長消防手として昭和十五年ごろまで活躍をしてゐた人で、天晴れ"在郷消防士"の面目を發揮したものと、同消防署員たちの士氣を鼓舞二重の感激をまいてゐる

愛國班へ彈丸切手 七萬五千枚割當

京城府では一日から一齊に賣り出した彈丸切手七萬五千枚を各町會に割當て愛國班精神を發揮全額消化に萬全の構へをもつて目下督勵してゐる

大詔奉戴日にラジオ體操

京城府聯盟では來る八日の大詔奉戴日から朝の常會の行事に引續き參會者中希望者にはその場でラジオ體操を實施して健民運動の一助となすはずである

醉拂つて暴行

中國山東省生れの王鋼振(三〇)は府内貫信町二五六で漢藥種商を營んでゐるが、去る一日午後十時頃、泥醉の上、長沙町から挽子、千己業(三七)＝府内敦岩町山八三ノ四〇に居住＝の人力車に乘つて鍾路五丁目の電車停留場に至り降車、車夫が車賃を請求した所"料金なんか持つてゐない"と支拂はないばかりか却つて人力車夫に對して暴行に出たところ、東大門署員に取押へられてお灸をうけた

長田分會長勇退

在鄉軍人會藥律分會長長田倉之助氏は都合によりこのほど勇退した、同氏は就任以來五年間に亘つて同分會の充實發展、並に警防團副分團長、江南青年隊次長として半島青年の指導訓育に盡瘁、各方面からその退陣を惜しまれてゐる

京城府議 推薦候補者の横顔 (5)

草内興洙氏 現在燃料會社專務取締役、創名草内興洙、京城出身である、大正三年普成專門商科を經て茶洞普通學校教員となり大正五年紙類商を開業、同十年には精米、薪炭商を開いた、昭和四年には株式會社三興商會を興して代表者となるに及んで漸く實業界に識られその後太平古物社長、京城薪炭卸組合監事、弼雲町副總代等、公私の要職に就任した、京城府議には昭和五年に當選したが續いて昭和十年には府學校評議員に當選したことがある、年齡五十一、現住所は京城弼雲町一一〇

山中大吉氏 熊本縣宇土郡出身、現在京城六和町一ノ三九で辯護士を開業してゐる、大正十一年中央大學法科卒業十二年京城に於て辯護士を開業今日に至つた、その間、議長二回、副議長一回更に今も何常任議員を勤め、又總督指定治安、保安商法辯護士となつてゐる、府議には昭和六年初當選以來引續いて現議員の椅子を占めその他京城府醫育理事、京城府青年會理事等幾多の公職を有してゐる、年齡四十七

山崎廣錫氏 明治四十一年東京明治藥學校卒業、同四十四年京城本町山岸天佑堂支配人に入り大正六年藥店開、十四年鍾路四ノ一二八に藥種業を營んで今日に至つた、現在京城藥業、京畿道醫藥品商組合長及び朝鮮藥業者統制會副會長等を勤めてゐる、その他藥專校、龍谷高女、鍾路國民各校並に京畿道明進舍各理事のほか町總代に就任した、年齡五十六、福岡縣出身である

山口友造氏 多年半島の醫藥界に貢獻、現在京畿道醫師會長に就任してゐる、明治卅八年日本醫學校、同四十三年東京醫學校を經て北里研究所に入り翌四十四年漢城衛生會立順化院へ赴任した、大正三年府立順化院付囑託となり同七年京城本町に初めて醫院を開業した、現在京城花園町一二八に開業してゐるが、その間、校醫、警察醫、檢疫委員等幾多醫師としての公職に就いた、年齡六十一、山形縣東置賜郡の出身である

梁川在昶氏 創名梁川在昶 現在京城府會第二教育部長同副議長として半島少年教育界のため活躍してゐる、明治卅七年京城學堂本科卒業後官界に入り大正十一年京畿道龍仁郡守を最後として退官、朝鮮生命保險庶務課長に就任した、同十四年同社常務取締役に昇進、昭和二年には京城府學校評議員に當選、續いて同六年には京城府議に當選した、公職としては富平水利副組合長、町總代等、司法保護委員、借家調停委員等がある、その他實業會社方面にも二、三の重役を兼任してゐる、氏は京城出身京城三淸町一五に住んでゐる、年齡五十九

松本斗用氏 創名松本斗用 大正二年臨時土地調査局事務員養成所を卒業直ちに同局技手に任用され同十一年龍仁郡屬を最後として退官、京城興業信託會社取締役に就任した、昭和八年京畿道々會議員に當選、同十四年には京城府議に當選した、其間永登浦金組監事、京城紡織社員、中央商工取締役を經て昭和十三年京城商工會議所議員に當選、現在高陽精穀監査役、三榮商事取締役に就任してゐる、氏は京城出身、年齡五十三、京城道林町九〇に住んでゐる

藤崎謙祐氏 本年四月、民間警察功勞者として朝鮮警察協會より功勞記章を授與されるまで過去八回に亘つて公私の表彰及び感謝狀を贈られた、大正三年來鮮し請負業に從事したが同十一年京城内添町二ノ九八に料理屋業を營み今日に至つてゐるが、町副總代はじめ十青年團副團長、聯軍名譽會員、消防部長、學校後援會理事、日赤特別社員、警防協會支部幹事、警防團副團長のほか西部和洋料理組合長等、數多い町の公職にたづさはつてゐる、年齡五十、奈良縣の出身である

近藤秋次郎氏 愛知縣出身、五十一歳 現在弘中商工常務取締役に就任してゐる、昭和六年京城府議に當選、第一部教育部會常任委員に就任した、同五年京畿道會議員となり、同十年府議に再選された、その間、永らく町總代に就任し實業方面の餘暇を町務に捧げてゐる、現在京城大島町一に住み龍山警防團副團長となつてゐる

ラジオ 五日

朝 六・三〇『廣い意味の健民運動』永田秀次郎▲八・三〇(城)國民學校放送『朝禮訓話』▲九・〇〇(錄音)厚生次官武井群嗣▲九・〇〇(城)『赤チャンの鍊成』醫學博士弘中進▲九・三〇(城)國語會話の時間(朝鮮家庭向)▲一〇・三〇(大)『銃劍道模範試合實況』―京都市岡崎天王寺武德殿より中繼―▲一一・〇〇音樂『尚武の節句』東京放送管絃樂團ほか

晝 〇・三〇軍歌と吹奏樂陸軍軍樂隊、行進曲『皇軍の首途』他▲一・〇〇玩具の與へ方牛島謙友▲二・〇〇音樂講座オリンとヴイオラの音樂弘田龍太郎▲二・三〇(城)藥業用語講座高等法院通譯官林久次郎▲四・三〇(城)兵役讀本(鮮語)朝鮮軍囑託藤田紀正

夜 六・〇〇シンブン(城)お話と唱歌▲六・三〇(大)ピアノ獨奏組曲『端午の節句』▲七・三〇(城)『强兵健民は子供の時に』司政局社會課長永井炎鎮▲八・〇〇さつき日記―構成佐藤出立上秀二―朗讀 永井百合子他▲九・〇〇(城)報道、翌日の番組發表(朝鮮語)(城)新民謠(鮮語)寶冠宮打鈴他(城)細樂(鮮語)水龍吟▲九・四〇(城)家庭も戰場である(鮮語)梨花女專校長天城活蘭

大いなる祭 【132】
中野實(作) 三芳悌吉(繪)

新しき任務 (六)

それは一匹の黑猫であつた。不意の闖入者に、猫の方でも面喰つたらしく、背を丸め、毛を逆だててゐたが、急にうしろへ踏返つたかと思ふと、今度は、四肢をのばしてゆつくりした足どりで歩き出した。

(これは私の道案内だ)

もうそんな不敵な大膽な考へが浮かぶほど、英子は冷靜にかへつてゐた。

コンクリートの地下道を、彼女は、壁際によりそひながら、二十米ほども黑猫のあとをつけて來ると、薄明りのさしてゐる十坪位の廣い所へ出た。

よく見ると、そこは地下道の行きづまりで正面に出入りの扉があるきりだ。その扉のまん中に、何か白いものが光つて見える。目を凝らして、二三歩近づくと髑髏がぶら下つてゐたが、怪奇は、それはかりではなかつた。氣の弱いものなら一ぺんに腰を上げて逃げ出してしまひさうな光景であつた。天井に反射してゐる鈍い光線をたどつて目を追ふと、それは支那風の棺桶の中から漏れてゐて、青白い燐光をはなちながら、ミイラが横たへてあつた。で、何かこそこそ虫の這ふやうな音がしたので、何氣なく目を落すと、數匹の蜘が彼女の素足の殆ど間近まで這ひよつて來てゐた。

さすがの彼女も、ハツとして、二三歩飛び退ると、

『ギヤアツ』

と、異樣な鳴聲をあげて、黑い臺の上に駈け上つた。黑い臺と思つたが、のゴリラで、きよろりとしんでゐたが、だしぬけに聲をあげて、牙を剝き、びかゝりさうな氣配を——彼女は恐怖に戰慄した——こで蜘に刺され、ゴリラにかつて噛れる位なら、

かも知れぬが扉の中へ突入して、せめて、この教會の秘密の一部でも目撃して死んだ方がいゝ。とつさに彼女はさう決心すると拳銃を握りしめて、髑髏の下つてゐる扉を、思ひきり、强く押してみた。

と、案外、扉は音もなく、すつと向うへひらかれて、うしろ手で扉を閉めた彼女の目前に現れたのは、意外にも、また、さつきの穴倉と同じやうな廣さの部屋であつた。

が、次の瞬間、彼女は棘然として、總毛立つやうな光景にぶつかつた。

長さ五六米もあらうかと思はれる大きな蛇が、めらめらと炎のやうな舌をはきながら、正面の扉の把手へ鎌首をまきつけてゐたからである。

彼女は身じろぎも出來なかつた、と、その時、今來た地下道の方から、あはただしげに人の走つてくる足音が聽えた。

彼女は絕對絕命だつた。身の隱し場もない。

登記公告

夕刊 京城日報
發行所 京城府太平通一丁目三十一 合資會社 京城日報社

滿洲國皇帝陛下

畏し安東神社御拜

表忠碑、省公署等御成り

宮内府發表（五月四日正午） 皇帝陛下ニハ四日午前九時御泊所ニ於テ曹安東省長以下有資格者ニ單獨觀見及列立觀見ヲ、又根津陸軍大佐以下在安東日本側有資格者ニ單獨接見ヲ賜ハリ同九時四十五分御泊所御發、安東神社及表忠碑ニ御參拜ノ後、同十時三十分安東省公署ニ御臨、曹安東省長ノ政務上奏ヲ御聽取、同十一時十分東天閣ニ御臨、阿川市長ノ御說明ニテ市街ヲ御展望アラセラレ同十一時三十分御泊所ニ御還幸アラセラレタリ

【安東にて村岡特派員發】萬乘の櫻花床しく夜空をこめて香り滿ち鴨江のほとり安東の御泊所に安らけく巡狩御第一夜を明かさせられた滿洲國皇帝陛下には、四日午前九時御泊所に伺候する滿洲國側曹安東省長、志賀秘書官長、近藤大東港建設局長、秋吉安東省次長、張安東省民生廳長、關安東廳長、阿川安東市長、日本側根津、天羽、竹林、村田の陸軍大佐等にそれぞれ單獨觀見を賜ひ、引續き日滿有資格者四百餘名に列立觀見を仰せつけられた御のち、午前九時四十五分御泊所御發、安東神社に向はせられた

この日、皇帝陛下には日滿最高勳章を御佩用、陸軍御軍裝を召させられ熙宮内府大臣、吉興侍從武官長、吉岡帝室御用掛、政府側張國務總理、武部總務長官等各扈從員を隨へさせられ、御道筋に堵列する安東市民の奉迎に應へさせられつゝ同九時四十七分大鳥居前に御著、御車を停めさせられこれより御徒歩にて奉迎の安東省日本人學校組合長、秋吉安東省次長御先導申しあげて御參進、三ノ鳥居前にて土師神職御先導を代り申しあげ御手水所の御座に著かせ給へば、阿部神職御手水を奉仕、次いで御拜殿前御祓所にて神職大麻、御鹽を奉り、皇帝陛下には御拜殿内に御參入、御階殿より中門を御參入あらせられ、御拜の座に進ませ給ひ、架の櫻花床しく神職の進め參らす玉串を奉奠遊ばさせられた

次いで皇帝陛下には諸員御見送りのうちに大鳥居より御乘車、同十時七分安東神社御發、同十時十分表忠碑御著、そのかみの日露役をはじめ、滿洲事變に大陸鎭めの礎石として散華した皇軍勇士の芳魂を偲ばせ給ひ、こゝ一際、今を盛りと妍を競ふ櫻花にしばし御目をとゞめさせられ御感一入に拜された

かくて皇帝陛下には午前十時廿分表忠碑御參道口より御乘車、屆從員を從へさせられ、再び沿道市民の奉迎裡に安東省公署に御成りあらせられ、階上便殿にて熙宮内府大臣以下侍立のうへ曹安東省長より省下一般政務につき種々聞召されたる御のち、御臨路陽春の滿鮮を一眸に收める鎭江山東天閣に御成りあらせられ、近代產業都市として飛躍的發展を遂げつゝある安東市近隣一帶を具さに御覽、阿川市長の御說明をいとも御熱心に御聽取あらせられたる御のち、御機嫌麗はしく午前十一時廿分東天閣御發、御泊所に御臨還あらせられた

皇帝陛下安東神社御拜 謹寫・安東より謹電送

賀屋藏相參内

【東京電話】賀屋藏相は四日午前十時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ十七年度府密狀況ならびに、その他所管事項に關し委曲を奏上、種々御下問に奉答して御前を退下した

畜力縣外移動の統制强化

帝農勞働移動統制規程を實施

【東京電話】帝國農會では農業勞力ならびに畜力の需給調整を一段と强化するため從來の移動慣行にもとづく調整斡旋施設を農會法を發動して一段と强化擴充することとなり、さきに農業勞働移動統制規程を制定したが三日農林省の認可を得たので一日に遡ぼり實施することとなつた、また畜力の需給調整については日本馬事會ならびにその他關係機關と協議の結果、左の移動統制要綱を決定、たゞちに實施に移すことになつた

今回の勞働移動統制は道府縣農會の移動統制は從來通り道府縣內において實施するが勞力不足に伴ひ最近増加傾向にある縣外移動の統制を强化せんとするもので勞働移動班の出動または受入計畫につき道府縣農會に對し屆出義務を課するとともに必要ある場合は該計畫の變更その他出動および受入に關する指示をなし得ることとしたものである、なほ勞力補給調整馬の移動統制要綱の要點は左の通り

一、道府縣間における農耕馬の貸借出動の需給調整は農林省指導のもとに日本馬事會をして關係道府縣農會および系統農會と連絡のうへ計畫を樹立せしめること

一、道府縣內の貸借などの調整は道府縣または地方長官の適當と認むる團體において實施すること

一、畜產組合は郡市町村農會と連絡のうへ他府縣へ貸出しまたは出動し得る馬の見込頭數、時期などを他府縣より馬の借入れまたは出動の受入れを要する場合その他の團體はその見込み頭數時期などを地方廳に申出ること

一、地方廳は右の申出を日本馬事會に通報、日本馬事會は委員會に諮問して農耕馬貸借または出動計畫を樹立し農林相の承認を得て畜產組合に必要な指示をなすこと

一、地方長官は管內の馬の移動を澁滯なく師團長に通報し借入團體には借入馬の取扱ひ義務を負はしめ貸馬の供出團體には妊娠馬の出動制限など所要の義務を負はしむること

ル大統領が讓歩か

米炭礦爭議、十五日間休戰

【ブエノスアイレス三日同盟】米國炭坑夫組合長ジョン・ルイスは二日午前ワシントンにおいて同組合の領袖三名とゝもに內務長官イッキーズならびに勞働關係局長ルマンなどと會見したのち、ニューヨークに歸還、炭坑夫組合の政策委員會に於て、對策を協議した結果、委員會は合衆次の對策を決定した

一、四日から十五日間一切の炭坑[illegible]の放送演說でも如何なる方法でも[illegible]が新契約後の交渉に當るか明示されてをらず、たゞ內務長官イッキーズは現行契約にもとづいて炭坑を經營すると新協定が成立すれば、炭坑夫については四月一日に新協定に遡及することに決定してゐるだけである

もルイスの復業命令にも、大統領は

但し今回の炭坑爭議の一原因として勞働長官パーキンス女史に對するルイスの不信任が擧げられてゐるので、今後は恐らくルイスとイッキーズとの間に交渉が進められることゝならう、ルイスが休戰に同意した本當の腹は判明しないが、消息筋の觀測によれば、大統領がある程度讓歩し、炭坑夫の賃銀値上に同意してゐるのではないかといはれる

米の露骨ぶり

獨、マ島問題見解表明

【ベルリン三日同盟】米國政府は佛領西印度諸島高等辦務官ロベール提督が依然フランス本國政府に忠誠を誓つてゐるのに業を煮やし去る四月廿六日突如マルチニツク島と斷交、實力を行使して同島を略取する野心を露骨に示してゐるが、ドイツ外務當局筋では三日米國の不手際な遣り口を嘲笑して次のやうな見解を表明した

米國はマルチニツク島が樞軸軍の米國大陸進攻作戰における攻撃基地に利用されるかも知れないといふ途方もない理由を楯にとつて同島と斷交したが、これが殘存してゐることも米國帝國主義の默過出來ないところであらう、そのためいろんな理窟をつけて野心の實現を狙つてゐるのだが、それで世界の目を晦まし得ると思つてゐるならば大きな間違ひだ、またビシー來電によればフランス政府當局もまた三日『米國はマルチニツク島を恫喝したり經濟上の重壓を加へたりしてフランス政府に反旗を翻へさせようと骨を折つたがペタン首席に對する同島の忠誠が微動だにせぬのに業を煮やして今回の擧に出でたに違ひない』と述べ、米國政府の陰險な手口を痛烈に非難してゐる

野望を斷乎排撃す

フランス港碇泊の佛艦船自爆の決意

【ローマ特電二日發】ステファニ通信によれば、米國は佛領マルチニツク島との斷交によつて同島に押立てる十八番の卑劣な口實だ、しかし米國の眞の意圖は、フォール・ド・フランに隱匿されてゐると稱するフランス大藏省の金塊を掠奪し

一、同島に碇泊する佛海軍艦船を强奪するものであり、さらに米國の勢力圏內に歐洲國家の所領ある佛艦隊を拿捕すべく準備中なるとが明かとなつたため總督ロベール提督はアメリカの壓迫に敢然抵抗するため同島にある戰艦商船に目下フォールド・フランス港に碇泊中の輸送船六隻をも全部自爆せしめる覺悟なる旨、一日聲明した

ニューヨークに空襲警報

【ストックホルム二日同盟】ニューヨーク來電によれば二日ニューヨーク市に突如空襲警報が發せられ、市民の間には一台の飛行機がブルックリン地區上空に飛來して機銃掃射を加へたとの風說が流布した

東條首相、汪精衞氏へ祝電

【東京電話】東條首相兼陸相は四日還暦の誕辰を迎へた中華民國主席汪精衞氏に對し左の祝電を發した

中華民國參戰下に閣下還暦の御誕辰を迎へ感銘に堪へず、ここに謹んで慶祝の意を表し併せて將來の御健勝を祈る

波蘭將校の虐殺

ゲペウの兇行と確定

國際調査委員會發表

【ベルリン三日同盟】スモレンスク近郊カトウィン森におけるポーランド將校虐殺事件ではしなくも反樞軸陣營は寄合世帶の脆弱性を暴露するに至つたが、ドイツ政府の依囑により歐洲法醫學界の泰斗を網羅して組織された調査委員會は去る四月二十八日から三十日まで、カトウイン森の發掘死體を徹底的に調査した結果、三日次の報告を發表した

委員會はカトウイン森におけるポーランド將校の共同墓地を調査、七箇所を發掘し死體四千九百八十二個を解剖に附した、このうち七十パーセントは氏名が判明した、死因は悉く後頭部の銃彈貫通によるもので、附近住民の證言および死體に發見された手紙、日記、新聞などによりこの銃殺は一九四〇年三、四月中に行はれたものと推定される、右報告は獨軍當局の手で行うた豫備調査と完全に符合するものでソ聯ゲ・ペ・ウの兇手に斃れたことは最早一點疑問の餘地もない、なほ調査委員會の顏觸れ次の通り

▲ベルギー、ゲント大學眼科學教授スペレールス博士▲ブルガリヤ、ソフイヤ大學法醫學教授マルコフ博士▲デンマルク、コペンハーゲン法醫學研究所解剖學教授トラムセン博士▲フインランド、ヘルシンキ大學病理解剖學教授サツツエン博士▲イタリー、ナポリ大學法醫學教授パルミエリ博士▲クロアチヤ、ザグレブ大學法醫學教授ミロスラヴイツチ博士▲オランダ、グロニンゲン大學解剖學教授デ・ブルレット博士▲ボヘミア、モラピヤ保護領プラーグ大學法醫學教授ヘー・シエク博士▲ルーマニヤ、司法省法醫官ビルクレ博士▲スイス、ジユネーブ大學法醫學教授ナビイウユ博士▲スロバキヤ、ブレスブルグ大學病理解剖學教授スビク博士▲ハンガリー、ブダペスト大學法醫學教授オルソス博士

赤軍戰力急低下

獨軍着々兵力を增强

【ストックホルム三日同盟】クバン河口地區における赤軍の攻勢が急激に低下するにつれて獨軍の反擊はいよいよ激烈となり特にノボロシースク周邊では獨軍の一方的攻勢が續行され殲滅につぐ殲滅戰が展開されてゐる、デーエヌベー通信社の報道によれば赤軍は二日戰車十六台、飛行機廿一機を喪失したといはれるが赤軍戰力の低下は右報道に徵しても顯著だ、ストックホルム觀測によれば赤軍は一日タマン半島東北線に相當の兵力を上陸させたが、獨軍のため一兵も餘さず殲滅されたといはれ赤軍は三日に至りクバン橋頭堡奪回についてては現在までのところ何らの發表も行つてゐないと傳へられる

企圖を全く斷念した樣子でソ聯情報局も徒らに獨軍の兵力增强を報じてゐるばかりだ、他方ユーピーモスコー電によれば獨ソ兩軍とも全線にわたる兵力整備を完了し熾烈な攻勢を準備砲擊戰に移行してゐるといはれボロネジ地區ではすでに前哨戰が開始されてゐるとも傳へられる

當局も問題の飛行機の國籍其他に[illegible]されたといはれる、米國陸海兩軍

赤機千餘機擊墜破

獨軍四月中の戰果

【ベルリン三日同盟】獨總統大本營三日正午發表

一、クバン河口地區の赤軍は二日また執拗に攻擊を加へ來つたが獨軍により大損害を被つて悉く擊退された

一、四月中を通じ赤軍は飛行機一千八十二機を喪失した、うち百二機は空中戰、百二十一機は獨軍地上砲火、十機は獨陸海軍部隊により擊墜、爾餘は地上にあつて爆碎されたものである

伊軍戰況發表

【ローマ二日同盟】伊軍司令部は二日公報をもつて次の通り戰況を發表した

一、反樞軸軍はシチリヤ水道を通過する樞軸輸送船に對し海軍および空軍をもつてする攻擊を增加してゐる

一、過去數日間反樞軸空軍の爆擊機隊はチュニジヤを往復する樞軸病院船を再三にわたり攻擊そのうち一隻の如きは四回の連續攻擊をうけ損害は輕微だつたが乘組員若干に負傷者を出した

英空軍十一機喪失

【ストックホルム三日同盟】ロンドン來電＝イギリス空軍が一日のオランダ工業地帶爆擊ならびにノルウエー沖の機雷敷設に際し合計十一機を喪失した旨公表した

四十二萬噸擊沈

獨海軍四月中の戰果

【ベルリン三日同盟】獨軍當局は四月中における獨海軍の反樞軸通商破壞戰の綜合戰果を三日次の通り發表した

獨海軍は四月中に反樞軸商船六十三隻四十二萬三千噸を擊沈した、うち六十一隻四十一萬五千噸は獨潛水艦によるもの、このほか十八隻に魚雷攻擊を加へ損傷を與へた、また獨潛水艦の反樞軸軍艦攻擊も多大の戰果を收めた、すなはち空母一隻、巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、潛水艦一隻を擊沈したほか他の獨海軍部隊は驅逐艦二隻、潛水艦三隻、水雷艇七隻を擊沈した、さらに獨海軍より損傷を蒙つて反樞軸艦艇は驅逐艦一隻、驅潛艇一隻、水雷艇十一隻哨戒艇一隻である

重光外相外交團を接見

【東京電話】二日新任參拜から歸京した重光外相はいよいよ本格的な活動に入ることになりその手始めとして四日から外交團の接見を行ふことになつた、今回の外交團接見は時局の重大性にかんがみ從來の如き儀禮的な接見の慣習を破り大使には約一時間、公使には卅分の時間を當るが第一日の四日は午後三時から四時までアンリー佛大使、四時半から五時半までインデルリ伊大使を接見し、以下逐次着任順に行ひ本月中旬までに終了する豫定である

英潛水艦擊沈

【リスボン三日同盟】ロンドン來電＝英國海軍省は潛水艦ターピュラントが期日を經過しても歸還せず擊沈されたと認められる旨三日發表した

殘敵擊滅に猛進

南北兩部隊感激の握手

【京漢線沿線前線四日同盟】〇〇方面より怒濤の如く南下、北部太行の戰線を一氣に突破して敵第三軍分區に强力な楔を打込んだ中川野村兩部隊は各所に敵の兵器廠を覆滅しつゝひた押しの進擊をつゞけてゐたが、遂に三日敵軍分區司令部所在地市家莊において西方より同部落に突入せる植田部隊との連絡成り、ここに南北兩部隊は感激の握手を交し、さらに殘敵殲滅に最後の猛進擊を開始した

敵陣へ巨彈の雨

戰友の屍踏み越えて猛進擊

コレヒドール攻略戰の一回顧

【マニラ三日同盟】米國が東亞侵略の據點としてその堅壘を世界に誇つたコレヒドール要塞が陷落してからこゝに一年、以下は一年前のあの日コレヒドール總攻擊に參加した從軍記者（福田同盟特派員）のコレヒドール總攻擊回顧である

バターン半島が陷落して數萬の米比島軍投降兵がバターン軍公路を埋めた、バターンの戰雲は拭ひ去られた、しかしコレヒドール要塞は唯一の賴みである、ヒターランドのバターンを失つてもいまだ呆然と抗戰を續けた、米比島軍投降兵すら『コレヒドール攻擊は中止した方がよい、もしあれを攻擊すれば酷い目に逢ふ、あの島は一つ一つで要塞が沈下する仕掛けになつてゐる』と眞顏でいつた、これに類した噂がいろいろと捕虜の口から洩らされたものである、彼らの常識ではコ島要塞攻擊は不可能だといふのであつた、しかしわが方のコ島攻擊作戰はバターン陷落と同時に綿密周到に進められ〇〇日にはわが戰鬪司令所も前進してバターン南端のジャングル中に入つた、巨彈を投じて爆碎したコレヒドール要塞を攻擊するには愼重な準備を要した、敵火力の制壓、作戰企圖の秘匿、この二つが最も肝要なのだ、わが砲兵陣はバターン南端のジャングル中に集結して放列を布いた、頭を出しても對岸の敵に發見される近距離である、我觀測陣地の勞苦は並大抵ではなかつた、砲擊は連日連夜猛烈を極めた、わが的確無比な照準は一つ一つ目標を叩き潰して行つた、島の樹木は悉くわが砲爆擊に折れ裂け、岸は燒け枯れ、地上の兵舍は襤褸のやうに崩れた姿を曝した、しかしコレヒドールの敵を完全に攻略するには敵前上陸をしなければならない、敵前上陸用舟艇を如何にして確保するか、これが作戰上の重大な問題であつた、これがためわが軍は殘存してゐた若干の米海軍の艦艇に對し巨砲の砲列を布いて小舟一隻も通さじと備へた、マニラ灣口のバターンとコレヒドール間の北水道突破を敢行したのであつた

〇日わが大舟艇隊はバターン西岸〇〇を出發折柄の月光下北水道に差しかかつた、もしエンジンの音が敵の耳に入れば企圖は忽ち破れてしまふのだ、わが航空隊はこの作戰に呼應して夕刻からコ島上空を飛翔して敵の注意を上空に引いてゐた、舟艇群は滑べる如く半島南端に沿うて北水道に入つた、わが軍の全神經は航行中の舟艇團の上に注がれ成功を祈つた、全く神助といふべきであつた、コレヒドールの敵は海上警戒のため時折探照燈を光らせたが、その光芒は遂にわが舟艇を發見し得なかつた、小銃一つ聞えない靜かな海面を切り拔けていよいよバターン東岸に差しかかつた時全乘組員は泣いて神助に感謝した、我猛砲擊は假借なく敵要塞施設を蹂躙しに叩きつけて行つた、米鬼の東亞侵略據點最期の日は刻々と迫り、斷末魔迫る恐怖から敵は死物狂ひとなり彈幕に物いはせる砲擊は日增しに熾烈さを增して行つた、絕望的な抗戰を繼續せんとする巨砲の咆哮はコレヒドールの挽歌であり葬送曲でもあつた、男の節句五月五日深更コレヒドール總攻擊は決行された、わが作戰は水ももらさぬ完璧の準備を完了し、バターンの戰鬪を省とした[illegible]ジャングル山中に瘴癘惡氣を克服して、ひたすらコレヒドール上陸の猛訓練に專念してゐた

前哨兵の鬪魂は湧き立つた、マラリヤの高熱のため野戰病院の寢台にうめいてゐた將兵は軍醫の止めるのもきかず、原隊に復歸して總攻擊に參加した『墜ちてし止まむ』前哨兵の決意は凝集した、五日午後〇〇時敵前上陸部隊を乘せた舟艇群は基地を進發してマニラ灣頭下弦の月暗き海上を滑べるが如く走つた、全員舟艇中に殲滅を期して皇居を拜し奉り、晴れの壯途の成功を祈つた、やがて舟艇群は北水道を一氣に突破し目指すコレヒドール島の上陸地點近く差しかかつた、午後〇時〇〇分かねての作戰計畫通りわが砲兵陣地は火を吐いた、バターン南端より一齊にコレヒドール島上陸地點に集中する巨彈熱鐵の雨百雷の轟き一瞬全島は火の島と化しマニラ灣頭に凄愴な地獄圖繪を描き出した火の蓋は切られた、われ〳〵は固唾を呑んで上陸部隊の攻擊を待つた、やがて下弦の月光淡いコ島の空に上陸の成功を告げる信號彈が上つた、わが一斉砲擊に敵前上陸決行を氣づいた敵は慌てふためいて南岸の機銃を悉く北岸のトーチカ陣地に移動し陸下に乘りつけて斷崖を攀ぢ上るわが軍に猛烈な曳光彈を浴びせかけ壯絕な攻防戰が展開された、わが勇士たちは次ぎ〳〵に仆れて行く、戰友の屍を踏み越えて阿修羅の如く敵トーチカに肉薄して行つた、コレヒドール最期のこの戰鬪においても卑劣な米鬼は比島兵を督戰して矢面に當らせトーチカ內に鎖で縛りつけて抗戰に追ひやつた、攻防戰は刻々に凄愴の度を加へれが、夜の白む頃わが攻擊部隊は敵の反擊に幾度か各部隊の連絡を絕たれつゝも一步一步マリンタ高地に肉薄して行つた

夜があけて敵が氣づいた時にはすでにわが鐵獅子部隊は日章旗も鮮かに堂々とマリンタ高地を目指し、ひた押しに前進してゐた、敵は蟻のしのび入る隙もない、コレヒドール要塞にわが軍がまさか車を持ち込んで來ようとは夢にも考へなかつたのだ、六日正午近くわが第一線はすでにマリンタ高地に達し、コレヒドール要塞の心臟部に對し匕首を突きつけてゐるわが軍決死の總攻擊に最期の近きを觀念してゐたウエーンライト司令官はわが軍のマリンタ高地攻略を見るや幕僚を開催して降伏を決定、正午過ぎ軍使は白旗を掲げてマリンタ水道の外に現はれたのだつた、總攻擊開始後僅か十二時間である、わが第一線部隊長はちに軍使を接見して降服の事實を確めウエーンライト司令官の投降を認めた

やがて第一線將兵は固唾を呑んで注視するうちに敵將ウエーンライトは白旗とゝもに憔悴した身體を杖によりかかりベープ參謀長を隨へてわが軍門に降つて來た、同午後五時本間最高指揮官はバターン南端カブカーベンの一民家にウエーンライト以下首腦部を引見し、こゝに歷史的會見は開かれた、本間司令官は比島全米比軍の無條件降服を嚴然と要求したのに對し敵將ウエーンライトはあくまで言を左右にして應諾を弄したため本間將軍は遂に『これ以上會見の要なし、ただ攻擊續行あるのみ、再び戰場で相見えん』と席を蹴つて退場した、會見は決裂のうちに終つた、わが軍の決意の重大と迫りくる米比島軍殲滅必至の運命に今さらのやうに極度に怯えたウエーンライトは夕闇迫る道路上蒼白の顏を顫はせて立ちつくし、第一線部隊長らの戎衣の袖に縋つて何時までも保身に汲々たる繰言を述べ憫笑を買ふのみであつたが、わが斷乎たる攻擊續行命令におじけをふるつたウエーンライトは七日コレヒドールを初めマニラ灣口諸要塞の米比島軍を率ゐてわが第一線陣地に正式投降をなすと同時に全比島米比軍に對し降伏勸告の命令を發する放送を行つた、比島における米比軍の抗戰はこゝに全く終熄し比島の戰鬪は正式に完了することになつた

刀折れ矢盡きれば腹搔切つて果[illegible]